

漁業に関わる機会を増やし、広げる



お魚料理講習会（日南市教育委員会）

漁船セーフティラリー 南九州2013 10/1~12/31

ミス日本「海の日」からのお願い!!



4つの約束
守ってね!

4つの約束

- 見張りの徹底
- 居眠り運航の防止
- 気象・海象情報の入手
- ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保

漁船セーフティラリー南九州2013

CONTENTS



訃報・JF宮崎漁連代表理事会長
・JF全漁連代表理事副会長の
丸山英満氏逝去される

FISHING POLITICS

漁政

宮崎県漁政対策委員会
第3回委員会

宮崎県演習場対策協議会 第1回役員会
お魚料理講習会（日南市教育委員会）

平成25年8月属人水揚げ表

BUSINESS

業務情報

進洋丸、大海原へいざ出港!

東アジア経済交流訪問団 香港への足がかり

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報

平成25年度第3回・第4回理事会

役員コンプライアンス研修会

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

養殖カンパチに発生した
眼球異常

- 生物利用部 -

8月の動き（県関係）

RELATED ORGANIZATION

関係機関

平成25年度宮崎県

船員労働安全衛生協議会総会

漁船セーフティラリー南九州2013

平成25年度

九州ブロック漁業士会研修会

宮崎県超短波漁業無線連絡協議会

平成25年度臨時総会

宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会

第3回役員会

8月の動き

09

水産宮崎ダウンロードサービス



※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。

-訃報-

JF宮崎漁連代表理事会長・JF全漁連代表理事副会長の丸山英満氏逝去される

本 会の代表理事会長・JF全漁連代表理事副会長である丸山英満(まるとやま・ひでみつ)氏が8月2日(金)午前9時33分、宮崎市内の病院で逝去されました。69歳。

葬儀は8月5日、11時より87(はな)会館(住所:宮崎県日南市南郷町中村乙7051番地)において丸山家、JF外浦、JF全漁連、JF宮崎漁連による合同葬により県内外各界から約800名参列のもとしめやかに執り行われました。

丸山英満氏は平成6年6月に本会の理事に、平成13年6月からは代表理事会長として漁協系統全利用体制の確立、経営基盤の強化等、一貫して水産業界の発展のため協同組合理念に徹し事業を推進してこられました。

また本年6月にはJF全漁連の代表理事副会長に就任されその行動力に大きな期待が寄せられていました。

しかし、体調を崩されながらも、燃油高に苦しむ漁業者のために働きたいとの一念で頑張っただけでしたが、志半ばでの漁業に身を捧げた生涯を閉じられました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。



CONDOL

宮崎県漁政対策委員会 第3回委員会

宮 崎県漁政対策委員会は、去る8月28日(火)水産会館第1研修室において第3回委員会を開催した。協議内容は下記の通り

- (1) 役員の互選について
- (2) 日向灘掃海訓練海面設定について
- (3) その他

丸山前会長の逝去に伴う役員の互選について、協議の結果、宇戸田漁連会長が会長となることで承認された。

宮崎県演習場対策協議会 第1回役員会

宮 崎県漁政対策委員会 第3回委員会に引き続き、宮崎県演習場対策協議会 第1回役員会を開催した。協議内容は下記の通り

- (1) 役員の互選について
- (2) その他

役員の互選について、宇戸田漁連会長が会長となることで承認された。

お魚料理講習会(日南市教育委員会)

去 る8月5日、日南市生涯学習センターまなびピアにおいて日南市教育委員会の初任者研修の一環として日南市内の公立小学校初任教諭7名の講習会を開催した。

日南市漁協女性部にご協力いただき、かつお飯、かつおたたき、かつおカツ作りに挑戦した。地元の産物を自分達で調理出来ることがとても勉強になり、今後の学校での授業に繋がる良い機会になったとの感想をいただいた。



平成25年8月属人水揚げ表

漁協名\区分	8月分			8月末累計			昨年同月累計			増減		魚価対比 %
	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	
北浦	4,456	222,208	50	25,967	1,706,488	66	20,653	1,298,989	63	5,314	407,499	4.5
島浦町	1,233	101,029	82	7,648	1,110,879	145	7,502	964,538	129	147	146,341	13.0
延岡	65	19,541	300	473	117,454	248	386	152,973	397	87	-35,519	-37.4
延岡市	114	31,050	272	776	321,464	414	886	400,351	452	-110	-78,887	-8.3
庵川	96	43,296	452	845	412,358	488	1,159	435,352	375	-315	-22,994	30.0
門川	43	21,846	504	304	135,897	447	353	191,902	544	-49	-56,005	-17.7
日向市	146	89,929	616	2,719	1,626,733	598	2,886	1,488,177	516	-167	138,557	16.0
都農町	3	1,302	478	263	168,871	643	325	191,623	589	-62	-22,752	9.0
川南町	85	77,534	909	1,829	1,241,014	679	2,384	1,411,930	592	-555	-170,916	14.5
一ツ瀬	12	9,178	790	112	74,606	666	102	64,814	637	10	9,792	4.5
檎浜	23	6,383	273	130	48,216	371	81	29,566	364	48	18,650	2.2
宮崎	177	39,186	222	1,056	357,253	338	835	290,741	348	221	66,512	-2.9
宮崎市	72	28,430	392	685	320,587	468	637	283,916	446	47	36,671	5.1
日南市	617	261,315	424	5,951	2,148,749	361	5,995	2,287,310	382	-44	-138,560	-5.4
南郷	1,222	442,030	362	15,424	4,441,809	288	12,577	4,511,682	359	2,847	-69,873	-19.7
栄松	129	50,111	387	1,422	431,213	303	1,030	376,347	365	391	54,866	-17.0
外浦	531	188,523	355	6,866	1,888,843	275	4,908	1,560,189	318	1,958	328,654	-13.5
串間市東	24	11,984	507	919	334,513	364	1,085	420,192	387	-166	-85,679	-6.0
串間市	509	280,830	552	5,270	2,833,920	538	4,906	2,601,255	530	363	232,666	1.4
合計	9,558	1,925,706	201	78,658	19,720,868	251	68,690	18,961,847	276	9,968	759,020	-9.2

進洋丸、大海原へいざ出港!!

去る9月5日、宮崎県立宮崎海洋高等学校実習船進洋丸の「第1次長期乗船実習航海」出航式が宮崎港内で開催された。今回の実習航海には漁業系の生徒37名、指導教官3名、乗組員19名、合計59名が乗船。

出航式は、生徒とその家族、友人、来賓、学校関係者ら多数参列し、一時の別れを惜しみ航海の安全を願った。

航海中は、ハワイ沖でのまぐろ延縄漁業実習に加え、航海術及び海洋観測・生物調査を実習。

また、香港地のハワイにおいて、地元の高校生と国際交流を予定している。

国際交流 10月23日(水)
宮崎港帰港 11月15日(金)



東アジア経済交流訪問団 香港への足がかり

宮崎県は「みやざき東アジア経済交流戦略」に基づき、東アジアとの交流を推進しているところであり、特に香港では、輸出促進に向けて、官民一体となった取り組みをおこなっている。

こうした中、8月26日から29日にかけて、香港直行チャーター便による訪問団が結成され、県産品や観光誘致等のPRと県香港事務所の開所式を併せたレセプションが開催された。

本会としても東南アジアに向けた輸出の足掛かりと位置づけ、訪問団へ参加し、本県水産物のPRをおこなった。

香港の人口は700万人を超え、多くの多国籍企業が地域統括拠点として進出し、世界でも有数の文化発信地となっており、ショッピングや食通の町として栄え世界中の観光客が訪れている。

香港では外食産業が発展していて、世界各地の料理が、庶民向けの安価な食事を出す店から、高級レストランまで存在し、中でも古くから日本料理は人気が高い。



香港レセプション

県香港事務所開所式・みやざきプロモーションのため開催されたもので、軽食として、宮崎牛をはじめとする農産物と水産物として宮崎カンパチ・シマアジ・北浦灘アジ・一口アワビ・メヒカリの唐揚げが出されていた。

水産物は宮崎にて締めて空輸で送ったものであったが、鮮度状態等最高であり料理長からも高く評価されていた。



平成25年度第3回・第4回理事会

漁連では次により第3回・第4回理事会を開催、報告及び議案審議を行い、全議案とも原案通り承認された。

◎第3回理事会

- 1.開催日 平成25年8月19日(月)
- 2.開催場所 水産会館 第二中研修室
- 3.附議事項
 - 第一号議案 代表理事会長の選任に関する件
 - 第二号議案 定款第46条第2項の規定する順位に関する件
 - 第三号議案 役員補欠選任に関する件

◎第4回理事会

- 1.開催日 平成25年8月29日(木)
- 2.開催場所 水産会館 第一中研修室
- 3.報告事項
 - (1) 平成25年度7月末実績について
 - (2) 水産会館研修施設空調修繕工事の業者決定について
- 4.附議事項
 - 第一号議案 水産庁業務改善命令等に対する進捗状況に関する件
 - 第二号議案 宮崎県漁連債権債務内部検討会規約(案)の制定に関する件
 - 第三号議案 JF経営指導宮崎県委員会設置要領の一部改正に関する件
 - 第四号議案 固定資産の取得に関する件
 - 第五号議案 理事の利益相反に関する件
 - 第六号議案 役員退任慰労金の支給に関する件
 - 第七号議案 臨時総会の招集及び附議事項に関する件
 - 第八号議案 理事の担当部門の変更に関する件
 - 第九号議案 石油類の価格改定に関する件

役員コンプライアンス研修会

漁連では、平成25年度は全役職員を対象に4回のコンプライアンス研修会の実施を予定しており、平成25年8月29日(木)水産会館第2中研修室において第2回目となる平成25年度役員コンプライアンス研修会を実施した。研修会には、本県コンプライアンスアドバイザーの第一人者である戸高栄作氏を講師に招聘し、「危機管理とコンプライアンス実践のすすめ」について講演頂いた。今回の研修会は、役員8名、職員19名が参加し、研修後アンケートを実施した結果、職場におけるコンプライアンスや危機管理について様々な意見が寄せられた。

ナチュラルミネラルウォーター

美泉水

お問い合わせ先

本所業務部 0985-28-6111

延岡支所 0982-37-0030

日南支所 0987-23-5231



養殖カンパチに発生した眼球異常 - 生物利用部 -

カンパチ *Seriola dumerilii* は国内でも主要な養殖魚種の一つであり、西日本沿岸で海面養殖が盛んに行われています。平成23年の宮崎県養殖生産量は全国第6位で、主な生産地は県北部であります。近年、国内の養殖カンパチにおいて眼球異常を呈する疾病が夏季を中心に多発しており、宮崎県においても平成22年頃からこの症状を呈するカンパチが目立ち始めました。今回は、この疾病を眼球異常病と仮称し、宮崎県内における発生状況やこれまでに実施した魚病検査結果について報告します。

材料および方法

発生状況調査

宮崎県内でカンパチ養殖を行っている13業者に対して、眼球異常が認められ始めた時期、平成22年における本病の発生時期、さらに淡水浴・薬浴時に確認された異常魚の大まかな尾数および年齢について調査しました。

眼球異常魚の魚病検査

平成23年10月および11月に、4業者の養殖場で合計15尾のカンパチ(魚体重350~3,200g)を生きた状態でサンプリングし、眼球の外観を観察し、眼球より菌分離すると共に眼球の病理組織観察を行いました。

結果

発生状況調査

回答が得られた11業者のうち、眼球異常病が発生した10業者から発生状況を聞き取ることができました。本病が確認され始めた時期については、平成20年および平成21年と回答した業者がそれぞれ1業者および2業者でありましたが、他の7業者は平成22年5~10月に初めて確認されたと回答していました。次に眼球異常病の発生ありと回答した10業者より平成22年の眼球異常病発生状況について聴取しました。眼球異常病が発生したカンパチの年齢は当歳魚のみが2業者、1年魚のみが2業者、当歳魚および1年魚が4業者、全ての年齢群(当歳~2年魚)が2業者であり、当歳魚および1年魚の発生が多かったです。また、各年齢および各月毎の発生状況を調査した結果、どの年齢群も発生時期は8~9月を中心に7~11月でありました。なお、発生ありと回答した養殖業者に対し、淡水浴・薬浴時における眼球異常病カンパチの確認尾数について聴取したところ、1生簀(生簀の大きさは約10~11m角)あたりの収容尾数は魚の成長段階に応じて、概ね2,000~10,000尾であり、概ね2週間に1回程度の頻度で淡水浴や薬浴を行った場合、1生簀の収容尾数あたり最大2割程度の病魚が認められるとのことでありました。

眼球異常魚の魚病検査

眼球異常を呈したカンパチの写真を図1に示しました。左右どちらかの眼に異常ありの個体が多く、眼球表面が白濁した個体、潰瘍形成や水晶体が欠落(いわゆる眼腐れ)した個体が高頻度で確認されました。一部の個体では体表にハダムシ(*Benedenia seriola*)の寄生が確認されました。なお、鰓や内臓を検査しましたが、特徴的な症状は認められませんでした。次にカンパチ眼球より菌分離を行った結果、カンパチ15尾中13尾の眼球内から4種類の細菌が分離されました。1種類はぶり類レンサ球菌症の原因細菌である α 溶血性レンサ球菌(*Lactococcus garvieae*)と同定され、残り3種類はグラム陰性菌が確認されました。最も高頻度に分離されたのは *L. garvieae* で、13尾中7尾から分離されました。ウイルスは何れの検体からも分離されませんでした。

図1 眼球異常病の症状を呈したカンパチ病魚

- A: 眼球表面が白濁した個体。
- B: 眼球表面に潰瘍が生じているが水晶体を有する個体。
- C: 角膜が消失し水晶体が欠落した個体。
- D: 眼球表面が角膜様組織により再生したと思われる個体。

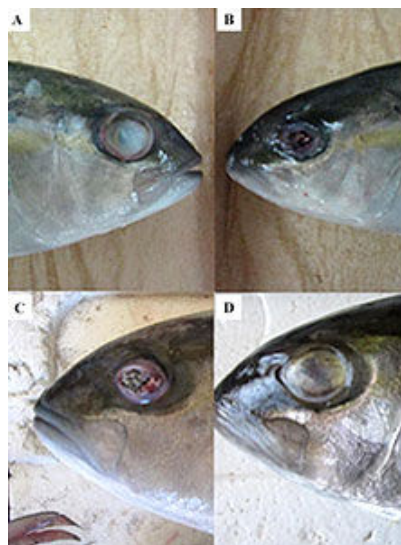


図1

さらに病魚眼球の病理組織を観察した結果、程度の差はあるもののいずれも同様の状態でした。すなわち内部に病巣部の組織が死んでチーズ状となった病巣があり、周囲に炎症性の組織・細胞が発達していました(図2aおよびb)。眼球の網膜(光や色を感じる膜状の組織)は、はがれているか、壊れており、しばしば出血による血の塊が見られました。角膜(眼の外側を覆う組織)は、炎症性の組織・細胞が観察されました。また組織が死んでチーズ状となった病巣の周辺に細菌のかたまりがありましたが、複数の細菌が観察され、特定の細菌が引き起こしたものではなく、何らかの原因により眼球異常が引き起こされた結果、病巣が「膿んだ」状態となった状態にありました(図2c)。

図2 眼球異常病のカンパチ眼球組織

a: 眼球内の炎症性組織。右側に組織が死んでチーズ状となった病巣(Ca)が見られる。内部は炎症性の組織(類上皮(E)と肉芽組織(G))が発達している。肉芽組織中に赤く見える斑点は過去に出血等があったところ。矢じり部分には細菌のかたまりが見られる。

b: 写真aの左下の矢じり部分を拡大したもの。炎症性の細胞が見られ、また大きな細菌のかたまりが認められる(矢じり)。

c: 同一の眼球内で見られた異なる3つの細菌群。

左: 小型の球菌あるいは桿菌。中: 比較的大型の短桿菌。右: 非常に小型の桿菌。

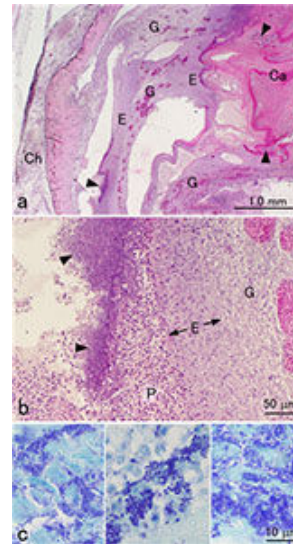


図2

結果から考えられること

発生状況調査により、本病はカンパチ養殖において重要な疾病であることが明らかとなりました。病理組織検査では、眼球内の細菌によって生じたと考えられる炎症性の組織が観察され、眼球内部から α 溶血性レンサ球菌症原因細菌である*L. garvieae*をはじめ複数の細菌が分離されました。 α 溶血性レンサ球菌症は眼球突出などの症状を引き起こすことから、 α 溶血性レンサ球菌症が可能性として考えられましたが、腎臓から細菌が分離されなかったことや病変は眼球内部に限定されていることから、 α 溶血性レンサ球菌症に伴う病変であるとは考えにくいです。このため眼球内部から分離された細菌は、何らかの原因で傷がついたカンパチの眼球に二次的に侵入し、いわゆる「膿んだ」状態になったと考えられます。養殖場においてカンパチの眼球に傷を与える要因としては、活魚の取扱不備による物理的なもの、ハダムシ(*Neobenedenia girellae*)の眼球寄生によるものが挙げられます。今回報告したカンパチ眼球異常病(類似の疾病含む)は西日本各地のカンパチ養殖場で発生している模様であり、他県の発生事例では眼球異常病が頻発する時期と*N. girellae*の寄生が見られる時期が一致することから、本疾病に当該寄生虫が関与しているとの情報もあります。しかしながら宮崎県においては過去の調査結果により別種のハダムシ(*Benedenia seriola*)の寄生が大半を占めていること、今回サンプリングした供試魚では*B. seriola*のみ確認されたことから、宮崎県での発生例において*N. girellae*の関与の可能性は低いと考えられ、ハダムシ(*Benedenia seriola*)も過去に宮崎で継続的に確認されていることから、これらハダムシ症が今回の眼球異常の直接的な原因とは考えられません。一方、他魚種の眼球異常において、物理的な損傷や感染症以外に、ビタミンの欠乏によっても引き起こされることが報告されており、ビタミン類などの栄養要求と眼球異常病発生の関連性も含めて総合的に検討する必要があると考えられ、今後の研究が期待されます。

先述したように、カンパチの眼球異常病は多くのカンパチ生産地で発生していますが、いずれも原因は明らかにされていません。今回の魚病検査においてもカンパチの眼球異常病の原因を特定することはできませんでしたが、本研究において、眼球異常病はカンパチ養殖において重要な疾病であることが明らかとなったことから、今後、様々な角度から調査・研究を行うことにより、本病の原因究明および対策技術の開発が望まれます。

8月の動き(県の動き)

5日	第296回宮崎県内水面漁場管理委員会(宮崎市)
20日	第366回海区漁業調整委員会(宮崎市)
22日~23日	九州ブロック漁業士研修会(宮崎市、日南市)

平成25年度 宮崎県船員労働安全衛生協議会総会

去 8月28日(水)、宮崎県船員労働安全衛生協議会の平成25年度総会が水産会館5階大研修室において開催された。

協議内容は以下の通り

- (1)平成24年度事業報告及び決算報告について
- (2)平成25年度事業計画(案)及び予算(案)について
- (3)その他

漁船セーフティラリー南九州2013

実施機関:10月1日(火)~12月31日(火)

漁 船の無事故を目指し、昨年に引き続き宮崎県内各漁業協同組合単位による「漁船セーフティラリー」を実施し、漁船乗組員相互による安全意識を啓発していきます。

安全な運航と海難防止にご協力をお願いします。

- 見張りの徹底
- 居眠り運航の防止
- 気象・海象情報の入手
- ライフジャケットの常時着用等事故救命策の確保



平成25年度九州ブロック漁業士会研修会

8 月22日に宮崎県庁講堂にて、平成25年度九州ブロック漁業士会研修会が開催された。内容は下記のとおり。翌23日には、高等水産研修所の視察が行われた。

1 講演

(1)「宮崎県における浮魚礁利用について」
講師:宮崎県漁村振興課 主任技師 中西 健二

(2)「次世代に残る漁師について考える」
講師:水産庁研究指導課 情報技術企画官 上田 勝彦

2 情報提供

「沿岸漁業リーダー・女性育成支援事業について」
講師:水産庁研究指導課 情報技術企画官 上田 勝彦

3 各県事例報告

漁業士の活動事例報告
翌23日には、高等水産研修所の視察が行われた。



宮崎県超短波漁業無線連絡協議会 平成25年度臨時総会

去 8月28日(水)、水産会館4階第1研修室にて、平成25年度臨時総会が開催された。
協議内容が以下の通り

- (1)会長の選任について
- (2)その他

新会長については、宮崎県漁連 宇戸田会長が就任した。
また、理事の補充については来年度の総会時に決定することとなった。
役員一覧を見る

宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会 第3回役員会

宮 崎県かつお・まぐろ漁業者協会は、去る8月30日(金)、南郷漁協会議室において第3回役員会を開催した。協議内容は下記の通り

- (1)役員の内選について
- (2)その他

丸山前会長の逝去に伴う役員の内選について、JF日南市 濱上組合長を新会長とすることで承認された。

8月の動き

5日	丸山会長合同葬儀 お魚料理講習会(日南市教育委員会)	28日	宮崎県漁政対策委員会第3回委員会 宮崎県演習場対策協議会第1回役員会 宮崎県超短波漁業無線連絡協議会臨時総会
19日	第3回理事会	29日	第4回理事会 コンプライアンス研修会
22日	平成25年度九州ブロック漁業士会研修会	30日	宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会第3回役員会